

令和6年度企業版ふくしまぐらし。体験事業業務委託 公募型プロポーザルに関する質問への回答

令和6年3月18日

No	質問事項	質問内容	回答
1	仕様書6(3) 「企業と地域のマッチング」について	交流プログラムの実施場所について、県内全域で行う必要があるか。 また 地域ごとに最低プログラム作成数、最低実施回数等の設定はあるか。	必須ではありませんが、浜・中・会津のバランスを考慮しつつ、幅広い地域でプログラムが実施されていることが望ましいと考えます。 交流プログラムの作成数、実施回数は、実現可能性を踏まえて、実施可能な数を具体的に提案してください。
2	仕様書6(3) 「企業と地域のマッチング」について	交流プログラムの内容例にある「地域のキーパーソン」について、キーパーソンの対象者は福島県関係人口ポータルサイト「ふくしまと関わるRoom」の掲載者から選ぶ必要があるか。	交流プログラムに協力していただく「地域のキーパーソン」を福島県関係人口ポータルサイト「ふくしまと関わるRoom!」に掲載されている人物に限定して選定する必要はありません。企業のニーズに応じて、適任者を選定してください。
3	仕様書6(4) 「フォローアップ体制の確保」について	フォローアップの相談窓口の設置場所に指定はあるか。(例：福島県内限定など)	設置場所に指定はありませんが、緊急時に迅速に対応することが可能となる体制を確保してください。
4	仕様書6(5) 「Webサイト等の情報発信」について	Web サイト等の情報発信について、既存の移住ポータルサイト「ふくしまぐらし」内に画像、インタビュー等を掲載するイメージか。	契約締結後、県がドメインを指定するサイト上での情報発信をお願いすることとなりますので、維持管理、更新作業等に必要な経費を想定してください。(新たにサイトを開設する必要はありません。)